

高橋 久光 議員（代表質問）

1 市制 60 周年について

- (1) 総合的な事業の内容について伺う。(具体的に)
- (2) 関連事業を含めた総予算額を市民にわかりやすく示していただきたい。

2 滑川市の財政状況について

- ・ 平成 25 年度予算編成に当たり、市長は 3 年前、「財政は危機的状況」と訴えて就任された。
 - ア 当時と今日の相違について問う。(市民に分かりやすく)
 - イ 今後の財政状況について伺う。

3 市長の今任期残り 1 年の思いについて

- ・ 就任時多くの公約を持って職務に就かれ、残り 1 年の思いを伺う。

4 富士原企画政策課長に伺う

- ・ 富山県より滑川市に出向、赴任されて 2 年、本市での思いを伺う。

浦田 竹昭 議員（代表質問）

1 平成 25 年度予算編成について

- ・ 平成 25 年度予算編成に込めた思い、重点、強調すべき事項について問う。

2 滑川市制 60 周年記念について

- (1) 滑川市制 60 周年を迎え、これまで（過去）を振り返り、いま（現在）を見つめ、これから（未来）の、滑川市についての見解を問う。
- (2) 記念事業のメインテーマ、メイン事業について問う。
- (3) 名誉市民推戴事業について問う。

3 市民交流プラザの運営について

- (1) 指定管理者の選定並びに今後の公募について問う。
- (2) 今後の運営方法について問う。
- (3) 2階スペースの、今後の利活用方法について問う。

4 スポーツ・健康の森公園について

- (1) スポーツ・健康の森公園の、趣旨・目的・運用・活用について問う。
- (2) 公園設置条例の制定について問う。

5 堀江運動公園について

- ・ 都市公園の縛りのある堀江運動公園未利用地の利活用について問う。
(例えば、住宅団地化・工業団地化・あるいはメガソーラー等)

6 雇用促進住宅の購入について

- (1) 雇用促進住宅の購入について、今後の対応を問う。
- (2) 市営駅前住宅の今後の対応について問う。(居住者への配慮、対応について)
- (3) 定住促進に向けた今後の取り組み、対応について問う。

7 並行在来線新駅設置について

- (1) 並行在来線の新駅設置について問う。
- (2) まちづくり構想について問う。

8 みのわテニス村利活用計画について

- ・ みのわテニス村の利活用検討委員会の設置と、その取り組みについて問う。

9 PM2.5 大気汚染について

- (1) PM2.5の測定機設置並びに観測体制について問う。
- (2) 注意報・警報の周知並びに対策・対応等について問う。(特に、幼・保・小・中の子ども対応について)

中川 勲 議員（一般質問）

1 道路整備について

- (1) 国道8号の稲泉交差点から早月川までの4車線化はいつ完成の予定か。
- (2) 国道8号稲泉交差点の立体交差の予定はあるのか。
- (3) 今冬の除雪状況について
 - ア 出動回数は何回か。また、費用はどれだけかかったか。
 - イ 出動の指示はどうされているのか。
 - ウ 学校周辺の除雪はどうされていたのか。
 - エ もし、3月2日北海道で発生したような吹雪があった場合、どう対処されるのか。
- (4) 地域の重要路線・市道北野高塚線の拡幅整備は計画的に進められないのか。
- (5) 道路、橋などの維持・補修・更新の計画はしているのか。

2 水道事業について

- ・ 今後、どの様な計画をされているのか。

3 技術監督について

- ・ 建築・土木工事がこれまでにない多くの工事が行われているが、技術監督は大丈夫か。

4 高齢者福祉について

- (1) いきいきチェック表を配布し、各種予防教室を行うとの事であるが具体的には何か。
- (2) チェック表を返送しなかった人は、どうなるのか。
- (3) 地域の見守りを強化されるとあるが、どのようにされるのか。

- (4) 孤立死ゼロに向け、職員による「おとしより見守り隊」を発足させた自治体があるが、滑川市では考えられないか。

5 滑川市平和の塔について

- (1) 平和の塔周辺整備はできないのか。
- (2) なぜ倒れている灯籠を直さないのか。

6 PM2.5について

- (1) 市内に監視用測定器はあるのか。
- (2) 基準を超えると分かった場合、どう対応するのか。

原 明 議員（一般質問）

1 観光振興について

- (1) 北陸新幹線開業に向けての取り組みは。
- (2) 観光PRや各種事業へ、積極的に取り組むことがあるのか。
- (3) 氷見―滑川間の観光船運航計画について

2 農林業の振興について

- (1) 本市の市有林の活用状況は。
- (2) 市有林の間伐の実施状況と今後の計画は。
- (3) 間伐材の有効利用について
- (4) 人・農地プランの最終状況について

3 滑川市の入札状況について

- (1) 技術者や下請け業者がいないなどの理由で、入札が不調となった市の発注工事はあったのか。
- (2) 寺家小学校耐震補強工事（第1期工事）の入札、不調の原因は。
- (3) 愛市購買による市内業者の育成について

4 スポーツ・健康の森公園整備について

- ・ 子どもげんき広場の拡張と、遊具の追加整備を。

開田 晃江 議員（一般質問）

1 教育について

- (1) 教育センターにいじめ対策本部を設置しては。
 - ア 教育センター所長がせっかくの校長先生待遇の配属なので、もっと保護者や子ども達の救いの場であってほしい。
 - イ 当市における不登校児童、生徒は何人か。また、県内ではどのような状況か。
- (2) 学力到達度検査とはどのようなことか。
 - ア 滑川市独自の検査か、調査ではないのか。
 - イ 統一した問題が必要と思うが、どのようにするのか。
 - ウ 単年度だけか、継続するのか。
 - エ 「勉強ができるから良し」になっていかないか。
 - オ 文化もスポーツも子ども達の無限に広がる素質の引き出しを閉じてしまうことにならないか。

2 市制 60 周年事業について

- (1) ご当地ナンバープレートを作製するとの報告があり、デザインはキラリンとの説明であったが、ホタルイカではないのか。
- (2) 「市民参加の音楽祭」をなぜ新川文化ホールで行うのか。8月末に大ホールが完成するとの説明があったが、時期をずらすことはできなかったのか。（市民はガッカリ）
- (3) 記念事業の中で、「写真や生活資料で振り返る『滑川の今昔展』」とあるが、それを市民交流プラザの壁面を使って、60周年今昔映写会などを計画できないか。（市民がワクワクする企画を）

3 東加積地区の里山を古里眺望点に

- (1) 早月川扇状地は富山県教育委員会生涯学習・文化財室に登録してある。富山県景観条例第37条に「ふるさと眺望点の指定」があり、知事に対し、その旨の申し出をすることができる」とある。滑川市として60周年を記念して調査研究の後、上田市長の熱い思いで東加積地区の里山風景を県に

登録する運びとならないか。

- (2) 新幹線の開通を見込んで、東加積地区のてっぺんに「ホタルイカのまち・滑川市へようこそ」といった電飾看板を設置して、小水力発電から電気代を賄うということはできないのか。(看板が目に入り、里山も心に残る車窓からの思い出の地になれば。)

高木 悦子 議員（一般質問）

1 市内公共施設へのWi-Fiスポット設置を求める

- (1) 滑川市内の公共施設で、無線LAN（Wi-Fi規格）を利用できる場所はありますか。
- (2) 交流人口の増加のための観光推進、市街地での賑わい創出、更には市民の皆さんが集う場所を積極的に利用してもらうためにも、Wi-Fiスポット設置は必要なものと考えているが、滑川市としての考えを問う。
- (3) コンベンション誘致に向けた宿泊助成制度を新設するが、合宿や企業関連の団体利用を促すためには、Wi-Fi環境は不可欠のツールであると考えている。青雲閣やSLハウスでの設置はできないか。
- (4) 道の駅、市民交流プラザ、博物館、図書館などへの設置はどうか。

2 駅前団地の性急過ぎる対応を問う

- (1) 平成13年12月19日閣議決定された「特殊法人等整理合理化計画」で、平成33年度までに独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構（旧・独立行政法人雇用・能力開発機構、以下「機構」という。）が雇用促進住宅を廃止・売却するよう取り組みを求められたのはなぜか。
- (2) 機構が、雇用促進住宅の廃止または譲渡をするにあたって10年間の猶予期間を設けているのは、なぜだと考えるか。また、廃止までまだ猶予があるにもかかわらず、上小泉宿舎において「入居停止」の措置を取っているのは、なぜだと考えるか。
- (3) 駅前団地の居住者に対して、性急な退去を求めるのはなぜなのか。雇用促進住宅のように入居停止を行った上で、5年間～10年間の猶予を持つということが、なぜできないのか。
- (4) 駅前団地の住民に対して、転居に関する意向調査を行うに当たって、一般的に認められている居住者の権利を含めた条件を文書で提示したのか。提示したのであれば、その内容を示されたい。

- (5) 駅前団地の住民も滑川市民である。駅前団地の居住者の生活を犠牲にして、上小泉宿舎の住民との「購入する」という約束を優先しなければならないのか。
- (6) 今、0歳の子供が保護者から独立して、住居を求めるようになるまでには20年はかかる。人口ピラミッドからも分かる様に、住宅を求める人口はこれから20年間増えることは無い。駅前団地の居住者の自然減を待って、雇用促進住宅の廃止期限である平成33年度までに、吾妻宿舎、北野宿舎の活用を考えることが滑川市としての取るべき住宅政策ではないのか。

3 適正・公正な入札への取り組みを問う

- (1) 入札公告について、変更をする旨の公告がされているが、入札参加資格者に関する項目（地域や施工実績、配置技術者など）の変更を公告したものは、平成20年度から平成24年度の5年間において、各年度に何件行われているか。
- (2) 平成24年8月に「滑川市建設工事入札参加者選定要領」の変更箇所はどの部分か。
- (3) 「滑川市建設工事入札参加者選定要領」は、正しく適用されているのか。「指名委員会」は、正しく機能していると言えるのか。
- (4) 公告後、わずか数日でこれら入札参加資格の変更を行うきっかけは何か。平成24年度にかかるものについては、個々の理由も示されたい。
- (5) 例えば、入札番号99号で行った入札参加資格の変更だが、落札者は変更前の入札参加資格条件を満たしていたか。あるいは変更後の参加資格であったか。
- (6) フットボールセンターのクラブハウス新築工事に関する入札は、適正な競争がなされていると考えられるか。
- (7) フットボールセンター整備工事に続いて、市庁舎耐震工事においても落札後に、多額の追加工事が発注されようとしている。いずれも追加工事部分も含めて改めて入札を行うべきではないかと思われる工事金額である。「公正さ」を疑われかねない事態ではないか。

(8) 市長発言に対する噂の真相はいかに。

(9) 滑川市の安全・安心を守るためにも、市内業者に疑う余地のない適正・公正な入札機会を与えられたい。

野末 利夫 議員（一般質問）

1 「子育て環境」の整備について（子ども・子育て関連3法の成立を受けて）

- (1) 滑川市における子ども・子育て会議の設置について
- (2) 滑川市における事業計画のスケジュールについて
- (3) 滑川市における実施体制について
- (4) 利用者支援について
- (5) 現在、放課後児童クラブは3年生までの低学年となっている。今後6年生までの拡充計画はどのように対応されるのか当局の見解を問う。

2 市営住宅（シーサイドタウン有磯住宅）の環境改善について

- (1) シーサイドタウン有磯住宅が、3月現在では15戸の空室があるが、その原因は何だと考えているのか見解を問う。
- (2) シーサイドタウン有磯住宅の3LDKでのカビの発生等について、その対策を問う。

石倉 正樹 議員（一般質問）

・ 滑川市の防災計画について問う

- (1) 市長提案理由説明に「地域防災力向上のための施策を展開していく」とあるが、具体的にはどのような施策なのか。
 - ア 市民を対象とした防災講演会とは。
 - イ 海岸護岸の未整備地区の町内会を対象とする資機材の整備とは。
 - ウ 各地区の地域の団体と連携して行う防災の取り組みに対し、何を支援するのか。
 - エ 公共の建物の耐震化は、いつごろまでに完了する見込みか。
 - オ 市民交流プラザ駐車場に防犯カメラが設置されたが、今後計画的に他の施設等にも設置を考えているのか。
- (2) 孤立死、孤独死をなくすための取り組みとして「支え合いマップ活動実践セミナー」を開催するとあるが、具体的にはどのようなことなのか。
- (3) 災害時要援護者見守り台帳を基にした災害支援とは。
- (4) 県から示された津波の想定される一番高い高さは、7.1メートルとのことであるが、市としての対策はあるのか。
- (5) 市民の防災に対する意識が一層高まっていることから、市全体での防災訓練を実施できないか。

森 結 議員（一般質問）

- ・ 市民交流プラザの指定管理について
 - (1) 市が民間会社と交わした契約または仮契約を、破棄するというとはどういう意味を持つのか。
 - (2) ㈱ホクタテに契約または仮契約の破棄を伝えたときの反応は。
 - (3) ㈱ホクタテから違約金などの請求はなかったか。
 - (4) 社会的な信用を失墜したと思われるが。
 - (5) 行政には民間活力の導入が重要と言われている。いざ導入しようとしたら、議会に拒否された。今後民間活力、いわゆる民間のノウハウの活用はどうあるべきと思うか。
 - (6) 文化・スポーツ振興財団が、プレゼンテーションに敗れたことは恥じることか。
 - (7) 市民交流プラザの管理、運営のための従業員は何人か。
 - (8) 文化・スポーツ振興財団から㈱ホクタテに指定管理をかえようと決めたときに、何人の従業員に3月いっぱいでの雇止めを通告したか。
 - (9) 指定管理者をかえようとしたときに、従業員の雇用をどのように考えたか。
 - (10) 指定管理者の変更は組合潰しの意図があって、「出来レース」との声も聞いたが真意は。
 - (11) 滑川市と協同組合滑川ショッピングセンターとで交流プラザ建設のときに、駐車場利用に関する覚書があるが、このことが指定管理者の選定に影響をあたえるものか。
 - (12) 指定管理者選定に関して、滑川ショッピングセンターに相談や承認を得ていなかったとして反対討論があったが、相談の義務や承諾が必要であったか。

- (13) 再び文化・スポーツ振興財団が指定管理者となるが、(株)ホクタテよりも劣っている点はどうなるのか。
- (14) (株)ホクタテのときよりも文化・スポーツ振興財団のほうが債務負担行為、いわゆる委託費が多いのはなぜか。

前田 新作 議員（一般質問）

1 市民会館大ホール改修工事について

- (1) 利用者（芸術団体等）の意見・要望を聞いているのか。
- (2) 聞いているのであれば、どのような改築要望があり、この改修工事にどのように生かされているのか。
- (3) 管理者（文・スポ職員等）の意見を聞いているのか。
- (4) 改修内容を事前になぜ議会に詳しく提示されなかったのか。
- (5) 耐震化、特に屋根のブレースが弱いと聞いているが、今回の改修で補強されるのか。
- (6) 音響、照明、調整設備等は完全なのか。
- (7) 楽屋、控室等は確保されるのか。
- (8) 事業費が少ない。中途半端な改修にならないか。

2 市民交流プラザの指定管理について

- ・ 上田市長が「文・スポ」の理事長でありながら、なぜ「文・スポ」の場合、「ホクタテ」より管理運営費が増加するのか。

3 市庁舎耐震化工事費の変更について

- ・ 契約後1カ月にも満たないのに変更契約（追加工事の発生）とはおかしい。初めから予定されていたのではないか。

4 平成25年度予算より

- (1) 市民要望（会派一心クラブ、自民党滑川市連等）に対して、予算化されたものが少ない。（特に市道改良関係）
- (2) 上田市長のマニフェストにある「実質公債費比率が全国平均の15%台まで下がれば、約4億円の財源が生まれ、多くの事業ができる」と述べられていたが、どこに使われているのか。

5 農政について

- ・ 学校給食での地場産野菜の使用を増やすために、市内の営農組織等への栽培要請をもっと強力にすべきでないか。

6 市長提案理由説明より

- ・ 養鶏場建設反対の具体的な行動はどうされるのか。
 - ア 業者（タカムラ鶏園）に対しては。
 - イ 地元の地権者に対しては。

古沢 利之 議員（一般質問）

1 聴覚障害者世帯の火災警報器設置について

- (1) 聴覚障害者世帯の設置状況は把握されているか。
- (2) 日常生活用具給付制度では、「障がい2級以上で障がい者のみの世帯およびこれに準ずる世帯」となっているが拡大すべきではないか。

2 生活保護基準引き下げに関連する影響について

- ・ 安倍内閣は生活保護基準（生活扶助）を引き下げる方針である。受給者だけでなく各種制度に影響を与えると見られる。
 - ア どのような制度に影響があると見ているか。
 - イ 例えば就学援助への影響について
 - (ア) 年度途中で「要保護」から外れることはないのか。
 - (イ) 準要保護者への基準変更による影響はないのか。
 - ウ 例えば保育料、介護保険料などへの影響はどうか。

水野 達夫 議員（一般質問）

1 災害廃棄物の広域処理について

- ・ 富山地区広域圏事務組合を構成する一自治体として、以下のこれまでの流れについて問う。
 - ア 平成24年4月9日、富山・岩手両県知事で締結された「災害廃棄物の広域処理の基本的枠組みに関する覚書」第2条第1項にある周辺住民の理解は得られていると思うか。
 - イ 富山県の受入れ先である岩手県山田町の災害廃棄物「木くずを主とした可燃物」の現時点での総量はいくらか。
 - ウ 今後、本焼却を実施する場合、廃棄物処理法に基づく委託の手続き（再委託）は適正に行われるのか。
 - エ 2月7日、試験焼却により発生した焼却灰の最終処分場への搬入を阻止した、富山市の母親らを告訴した件に関しては、理事会の意思に従って決定されたのか。また、2月13日の組合議会になぜ報告等がなかったのか。
 - オ 今回の告訴の理由が威力業務妨害とのことであるが、広域圏にはどのような実害が生じたのか。取り下げを要請するつもりはないのか。

2 地方公務員の給与について

- (1) 1月27日付け地方六団体から出された地方財政対策・地方公務員給与についての共同声明や、2月20日付け全国市長会の緊急アピールに対する市の見解はいかがか。
- (2) 今回公表されたラスパイレス指数の比較には問題点が多々ある。県を通じて、国へラスパイレス指数のあり方も見直す要望をすべきだと思いがいかがか。

3 記念事業やイベント等のPR方法について

- (1) 現在、市民の方々へのPR方法は、市広報、ホームページ、チラシ配布、メールマガジン等があるように思う。特にメールマガジンの利用状況はどうか。
- (2) 市制60周年を迎え、各種記念事業が行われる。これを機に、例えばS

NS (ソーシャルネットワーキングサービス) を活用した PR (情報発信) はできないのか。

中島 勲 議員（一般質問）

1 予算編成について

- ・ 決算特別委員会から改善を求められた事項をどのように反映させたか。
 - ア 業務委託の現状を把握し業務ごとに一括発注、公園業務の複数年契約などの改善は。
 - イ 公共施設の維持管理費の縮小への取り組みとして、公共施設のあり方の検討チームの立ち上げは。

2 都市基盤の整備について

(1) 市街地活性化対策について

- ア まちなか再生事業が平成25年度で終了するが、その成果と課題についての見解を問う。
- イ まちづくりの観点から、今後ともこの事業は継続させるべきと思う。また、より効果をあげるため、担当課を一本化すべきと思うが、その見解を問う。
- ウ 危険老朽空き家対策をより前進させるために条例化の検討を早急にすべきではないか。

(2) ゲリラ豪雨対策について

- ア 排水機能の向上で本当に防ぐことが可能なのか。また、何を実施するのか。
- イ 住宅政策において、行政手続上でどのような対応を実施しているのか。

3 教育文化の向上について

- ・ 当初予算の中で幼児児童・生徒に対する政策が見えないし、むしろ減額されている。「子ども第一主義」は言葉だけなのか。また60周年事業にも何も見えていない。当局の見解を問う。

岩城 晶巳 議員（一般質問）

1 安心・安全について

- (1) 昨年8月に、県からの要請で「通学路の安全点検」がなされたとのことであるが、滑川市全体の結果を問う。
- (2) その点検結果について、今後の取り組みは。また、25年度予算には反映されているのか。
- (3) 橋梁長寿命化修繕計画については、24年度の調査結果を踏まえての計画と聞くが、その調査結果を問う。
- (4) 25年度は5,000千円で修繕計画を策定するとあるが、詳しい内容とスケジュールを問う。

2 新幹線開通に向けての諸問題について

- ・ 2月27日に開催された「並行在来線の利用促進に向けて」の懇談会より
 - ア 滑川市が要望している新駅設置については、「現状では困難」との感触であったが、市単独でも設置するのか。
 - イ 滑川駅、東滑川駅の駐車場を整備して利用しやすくしてほしいとの要望があったが、市の考えは。
 - ウ 並行在来線は、富山県ではJRのICカードが使えるが、石川県では使えないと聞くが、どのような対応がされるのか。

3 学校教育について

- (1) 以前から問題視されていた「いじめ」について、昨年は「大津の事件」で教育委員会の立場まで、存在意義の有無が問われるまでに至っている。教育委員長としての所見を問う。
- (2) 滑川市において「いじめ」の実態はどうか。
- (3) 滑川市単独での小学校学力テストの実施について

- ア これは現場からの要請による実施か。
- イ 誰が作成するのか。
- ウ 学校現場の負担にならないのか。
- エ 2学期にテストをして、3学期の学習に生かすというが、遅いのではないか。
- オ テスト結果を開示するというが、その意義は。

(4) 「ものづくりのまち滑川」としての理数教育の充実とあるが、どのようなことなのか。

(5) ケーブルテレビの「テレビ寺小屋」事業は、学力補完の番組と聞いていたが、内容はそれに沿っているのか。25年度はN e t 3に預けた形になって制作されるが、当初の意気込みが変化しているのか。